

「皆様の声」をお聞かせください。

FUJITSUファミリー会をもっと楽しく活用していただくための
さまざまな情報をご提供します。



会報担当幹事から

信越支部 **竹田 洋** 丸互(株)



3月7日に信越支部総会が長野市で開かれました。2年前の支部総会は3月11日の東日本大震災の日だったということで、今回もその話題が出ました。

最近本で読みましたが、「驚くほど元気に働いている被災地の方に「良く立ち直りましたね」と声をかけた時、一瞬顔色が変わった。「立ち直ったのではなく、前を向いていないと生きていくことが出来ない」と言われました。「あらためて、深い痕を残し、まだまだ地道な復興活動は続くのだと思いました。

記念講演は「万物は渋滞する」(西成活裕氏)で興味深い内容でした。「車間距離は40m、人口密度は1.8人/m²が臨界点。そこから先は渋滞となる。組織・企業としてはムダに見える「科学的ゆとり」が必要」というお話です。

支部活動として、9月に長岡市役所アオーレ(2012年4月にオープン)を見学した時、初めて知ったことがありました。

“ワンストップで実現、1階の窓口に来た住民はそこで全て用が済む。職員が窓口にかわるがわる来て対応する。土日も休まない。”市役所の仕事として初めて聞いて驚きました。これも富士通さんからの提案で実現したということです。すごいです。

また信越支部の特色である1月の夢フォーラム in 越後の講演は、話題の国の成長分野の話でした。“毎年1兆円近く増える医療費を産業として捉え、長期の治療や介護は民間企業の出番、効率化を求めていくのがいい(多摩大:真野俊樹教授)”というお話で、これも勉強になりました。

ファミリー会の信越支部の活動は、通常の企業活動では知り得ないさまざまな体験を、会員相互の交流とともに実現できるものだと思っています。

NEW FAMILY

(1~2月度ご入会分)

- 北海道 サッポロウエシマコーヒー(株)
- 信越 長野県パトロール(株)
- 東海 (株)フリースタイル
- 関西 (株)創造学園
兵庫県立教育研修所
南海辰村建設(株)
- 四国 医療法人住友別子病院
- 九州 学校法人九州学院
(株)ヒューマンテクノシステム



支部のイチオシ! 北海道支部

<http://jp.fujitsu.com/family/sibu/hokkaido/>

各地で大人気のグルメ親睦行事

北海道支部からは、2012年度に好評をいただいた親睦行事をご紹介します。

<親睦料理教室 プロから学ぶ簡単イタリアン> 札幌開催

札幌の人気イタリア料理店のシェフを招いて行われた親睦料理教室では定員を大きく上回る応募があり大人気の料理教室となりました。前菜、パスタ、肉料理の3種類の本格イタリアンをプロから学び



プロから学ぶ簡単イタリアン

ました。当日は初対面の会員様が多いにも関わらず、和気あいあいと終始楽しい声が溢れ、調理中はもちろん試食会でも親睦を深めていただき、有意義な親睦料理教室になりました。

会員の皆様からは今後も継続して欲しいとのお声を多数いただきました。会場の関係でアルコールを提供できなかったため「ワインがあれば最高だった」と残念がる会員様もいらっしゃいました。

<親睦行事 フランス料理とワインのタベ> 帯広開催

対照的に、帯広ではフランス料理のフルコースを味わいながらワインを楽しむ親睦行事を開催しました。ソムリエからワインや食事マナーに関するお話を伺った後、十勝の自然豊かな食材を中心としたフランス料理を味わいました。普段疑問に思っていた食べ方に関するマナーやワインに関する知識もその都度ソムリエに質問することができて会員様同士の親睦を深めるだけでなく、食に対する知識も深めていただき、札幌同様に今後も継続を希望されるお声を多数いただきました。



フランス料理とワインのタベ



LS研究委員会



2013年度 研究分科会

2013年度は下記の18テーマで研究分科会を行います。

研究分科会は、経営・技術面での先進的なICTテーマについて、将来像、活用方法、課題解決などに向けた成果を目指す1年間の研究活動です。4月から1年間の研究活動を通して、リーダーシップ、メンバーシップ体験、プロジェクト運営体験、人材交流による視野の拡大など、人材育成に大いに役立ちます。

カテゴリ	No.	テーマ名	カテゴリ	No.	テーマ名
ICT戦略 人材育成	1	業務プロセス改革を実現する全体最適化企画	技術 技法	10	テスト範囲の見極めと精度向上、効率化の研究 ～品質と期間・コストの両立～
	2	経営視点での要求仕様・要件定義における品質の向上		11	非機能要件のテスト手法の研究
技術 技法	3	運用課題から企画・設計・開発へのフィードバック		12	ビッグデータ技術を活用したバッチ処理の高速化
	4	業務プロセス可視化ツールの活用	管理 運用	13	ICTを活用した運用品質の向上
	5	ネットワークの仮想化と今後の活用		14	ヒト・コト・モノに着目した属人化が運用保守に与える影響の 分析と対応
	6	企業ICT最適化に向けたハイブリッドクラウドの活用		15	スマートデバイスの業務活用における運用のあり方
	7	スマートデバイスのUX向上のための開発手法		16	スマートデバイスにおける利用者情報の活用とセキュリティ 対策の両立
	8	アジャイル開発における開発・保守の品質保証	新分野	17	官民情報連携で生まれる付加価値ビジネスの研究
	9	超高速開発技術の研究		18	企業における次世代コミュニケーションのあり方

総合発表会2013 ご案内 ～2012年度の研究成果を集結～

開催日: 2013年6月4日 (火) 開催場所: ホテル グランパシフィック LE DAIBA (東京・台場)

プログラム

- 9:45～ 9:55 LS研運営部会長挨拶
- 9:55～12:25 研究分科会 研究成果発表／
- 13:40～16:10 研究分科会 研究成果発表／
短期分科会 活動報告
- 16:30～17:40 特別講演
- 18:00～19:30 懇親パーティー (分科会表彰)

●お申し込みはこちらから

<http://jp.fujitsu.com/family/lsken/activity/annual/13/>
お申し込み締切: 5月29日 (水)



Photograph by
Masataka Namazu

特別講演

「お客様に本当に満足していただける
ものづくりを途上国で行う」

山口 絵理子 氏
(株)マザーハウス 代表取締役兼チーフデザイナー

講演概要

大学時代、開発経済学を志しワシントンの国際機関でインターンを経験するが、金銭のみによる援助に疑問を感じる。現地を自分の目で見たいと考え、単身当時アジア最貧国であったバングラデシュに渡り、自分には何が出来るだろうと思い悩む。そんな中、途上国の人々の技術や資源を活かして、消費者が本当に満足できる商品を生産しようと考え、マザーハウスを立ち上げた。その後、信じていた工場の裏切りなど何度も絶望的な事態に遭うも、決して歩みを止めず前に進むことを諦めなかった。今回は、あらゆる困難を乗り越え力強く進んでいく自身の信念、異国の地で発揮する突破力やリーダーシップ、マザーハウスの途上国におけるものづくりの理念、そして自身とマザーハウスの今後のビジョンについてお話し頂く。



2013年度 海外セミナー (北米視察) ご案内

～主に中堅クラスの方々を対象に研修を中心としたプログラムで実施～

訪問都市: サンフランシスコ (シリコンバレー)、シアトル

実施時期: 2013年6月23日 (日) ～29日 (土) (5泊7日)

募集人員: 30名 (最少催行 15名)

※幹部社員、CIOの方々を対象としたプログラムは、2013年10月6日(日)～13日(日)に実施予定です。

詳しくは「2013年度 海外セミナー」
ホームページをご覧ください。

<http://jp.fujitsu.com/family/ho/seminar/13u/index.html>

※お申し込みは、5月10日 (金) まで

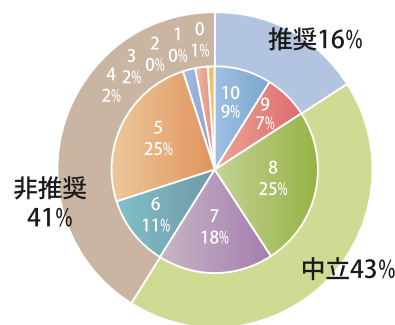
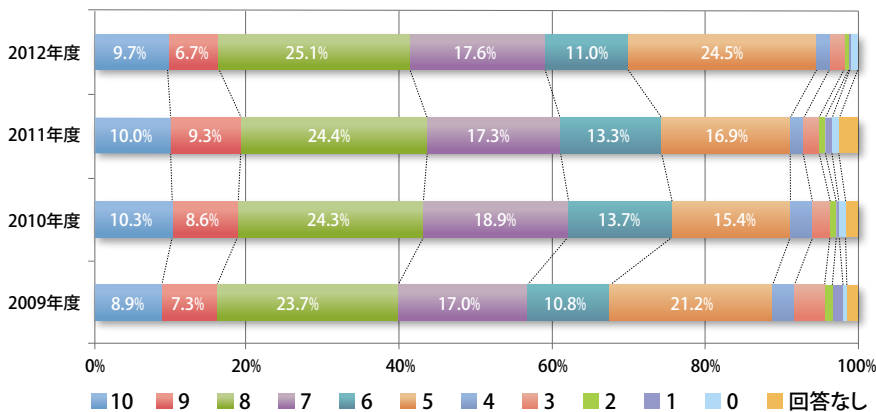
2012年度会員アンケート結果

会員様を対象に年に1回実施しておりますアンケートにつきまして、今回も多数の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。詳細につきましては現在、集計中でございますが、以下に概要を報告いたします。集計結果については会員専用ページ「FAMILY ROOM」に掲載予定です。

概要 (抜粋)

実施期間	2月28日(木)～3月22日(金)
回答率	36% [対象:3,442(全会員) / 回答:1,231(昨年:1,518)]

◎ FUJITSUファミリ会をどれだけ、他の方に推奨したいと思われますか? (0点:推奨しない～10点:推奨する)



NPS※: -24.5% (昨年: -17.7%)

※NPS (Net Promoter Score)

10～9点を推奨者、8～7点を中立者、6以下を非推奨者に分類し、推奨者が占める%比率から非推奨者が占める%比率を差し引いた%数値を指標とする、米コンサルティング会社考案の評価方法。

[事務局所感]

2012年度の傾向を見ますと会のイベントに参加されていないことから評価がづらい、というご意見も多く推奨度「5」を選択され、結果、前年に比較して相対的に推奨度が下がった結果となりました。この結果を受け今後も、より魅力ある活動を行いご満足いただけるファミリ会を目指してまいります。

わたしのおすすめ

最近凝っていること、これぞ私のライフワーク! など、あなたのおすすめを文章と写真でご応募ください。原稿を掲載させていただいた方には、図書カード(3,000円分)を差し上げます。

大空への憧れ ラジコン飛行機



小林 輝也 東京商工会議所(東京都千代田区)

私は趣味でラジコン飛行機を飛ばしています。もともとは中学生の頃にやっていた。受験をやめて以来25年間のブランクがありましたが、子供が大きくなったのを機に再開しました。

翼長1.5mのものから50cm位の小さなもの、さらにはヘリコプターなど様々なラジコンを飛ばしています。数年前には曲技飛行検定を受験しアドバンス級というクラスに合格しました。

今はもっぱら動力を使わず、地上からの上昇気流のみで飛ぶ「グライダー」という飛行機に凝っています。これは地上で熱せられた空気が上昇する「サーマル」という現象を利用し飛行する飛行機で、サーマルを見つけてその力を使って高くまで舞い上がるもので、時には100m以上の高度まで無動力で上昇する事ができます。全く動力の無い飛行機が自然の力だけで点になるまで高く舞い上がった時には感動します。

また飛行機にカメラを搭載して空撮を行い、空中散歩気分を楽しんでいます。これも四季折々の自然の中で飛ばしたり、時にはカメラを積んだまま曲技飛行を行い目が回りそうな空

撮も行って

います。また飛ばすだけでなく作る事も楽しんでおり、機体を自分で設計しバルサや発泡スチロールなどの材料を買ってきて自分だけのオリジナルの飛行機を作ったり、ゼロ戦やムスタングなど第2次大戦中の戦闘機をモデルにした自作飛行機を作ったりしています。

とても楽しく気分転換できる休日です。



投稿募集

- 文章600字以内 Word文書または、シンプルテキスト
- 写真: JPEG画像 等
- 送付先: ファミリ会事務局 contact-familykai@cs.jp.fujitsu.com

記事掲載にあたり、会員企業(団体)名、お名前、所在地(市町村)を掲載させていただきます。また、投稿者多数など、誌面の都合上掲載できない場合がございます。予めご了承ください。